



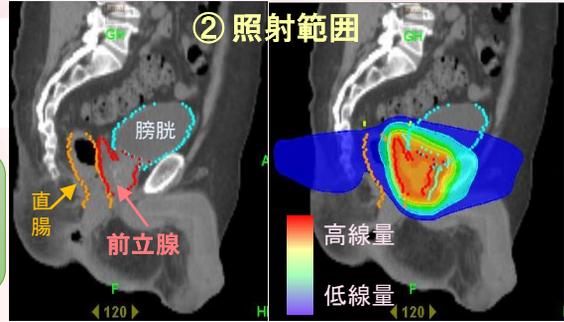
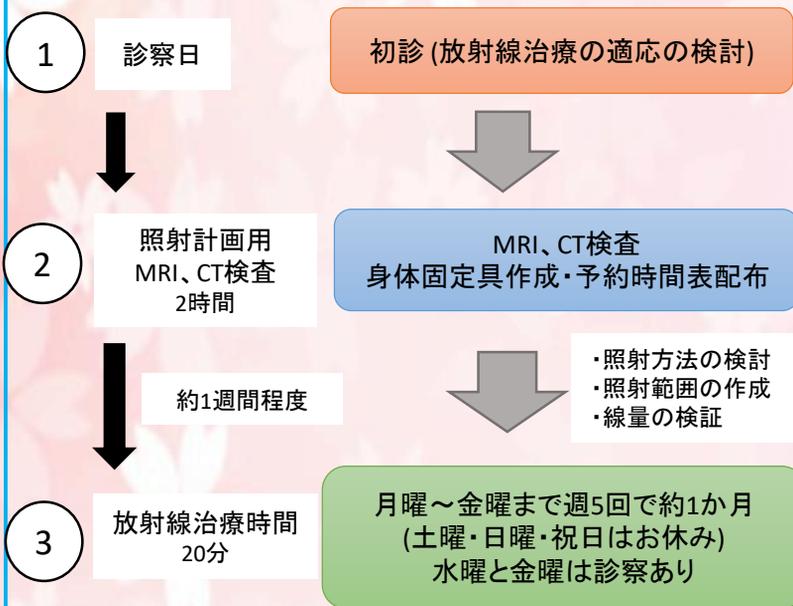
☆放射線治療～前立腺がんの治療の流れ～☆

前立腺がんとは？

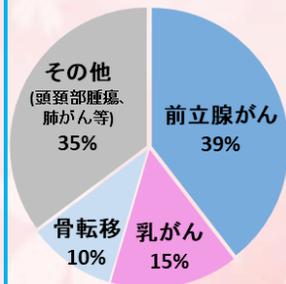
前立腺は男性特有の生殖器で、膀胱の下に位置し、尿道の周りを取り囲んでいます。前立腺がんは日本で増加していて50歳頃から徐々に増え始め、男性のうち約9人に1人の割合でかかっています。しかし、他の臓器のがんとは異なり、ゆっくり進行するため、早期に発見できれば、完治することが可能です。進行すると最終的には骨や他の臓器にまで転移することがあるため、早期に発見し、適切な治療を行うことが大切です。

前立腺がんを早期発見するための最も有用な検査は血液検査によるPSA検査です。PSAの値を調べることによって前立腺がんの可能性を調べます。また、初期には自覚症状がほとんどありませんが、症例によっては尿が出にくい、排尿の回数が多いなどの症状が出る事もあります。

放射線治療までの流れ



主な放射線治療割合



☆担当医師からの一言☆



放射線科治療室
高野聖矢 医師

こんにちは、高野です。
昨年9月に赴任し放射線治療担当しています。当院に放射線治療装置(Tomotherapy)が導入されて8年が経ちました。最近では、肺がん、脳転移、骨転移などの一部の症例に対しては、集中的に大線量を照射できる定位放射線治療(SRT)という新しい照射法を活用しています。患者様にとってベストな治療を提供できるよう、日々の学びを活かして診療にあたりたいと思います。よろしくお願いたします。

放射線治療 STAFF
医師 2名
診療放射線技師 7名
看護師 1名

治療室春仕様になりました



CT・MRI検査など緊急の場合は個別相談にて対応させていただきます。お気軽にお問い合わせください。

ご予約・お問い合わせは
地域医療連携室まで

TEL 0532-31-2528
FAX 0532-31-2279

受付時間 8:30～17:30 (月～金)
8:30～12:30 (土)



放射線部ウェブサイトは
こちらのQRコードから